

令和元年8月1日付

外来診療予定表 ●受付時間〈8:00～11:00〉まで(予約されている方は除く)

科名	担当	月	火	水	木	金
整形外科	新患	隈	宮崎	休診	隈	隈
	再来	隈	宮崎・隈		隈	隈
泌尿器科	新患・再来	平田	菅	平田	平田	休診
		菅	渡辺	菅	渡辺	
心臓外科	新患・再来 (予約制)	岩田	休診 (手術日)	岩田	岩田 小寺	休診
耳鼻科	新患・再来 アレルギー	馬淵	馬淵	馬淵	休診	馬淵
				(14:30)		
脳外科	新患・再来 (予約制)	森重	休診	休診	肥川 (第1) 久保 (第2) 森重 (第3・4・5)	休診
皮膚科	新患・再来 (予約制)			大分大学		
形成外科	新患・再来 (予約制)		大分大学			
放射線科	再来					松本
内科	循環器	田原	谷野	山崎	三好	三好
		谷野	三好			谷野
	消化器	和田	本田	和田	和田	本田
					本田	
	血液	卯野	卯野	佐々木	卯野	佐々木
				春山		春山
	内分泌					野口
	呼吸器					橋本
腎臓			福田		工藤	
肝臓外来		寺尾 (14:00)				
血液外来	吉田			吉田		
外科	新患・再来	佐々木(淳)	藤井	休診	藤井	佐々木(淳)
		長澤	河村		河村	長澤
総合診療	新患・再来	秦	秦	秦	秦	秦



4月の状況

なんかいプラス vol.8 2019.8
medical care information

新病院開院まで
あと四ヶ月と
なりました



5月の状況



7月の状況

新築整備工事進捗状況

写真は6月25日現在、7階A工区(臼坪川側)の状況です。天井・壁等の内装工事も下階から順に進んでおり、今後は7月中旬に8階、9月初旬に9階まで全てのコンクリート打設が完了する予定です。



南海医療センター 事務長
かんざき けいじ
神崎 啓慈

平素より南海医療センターの診療については、診療所の先生方を始め地域の皆様には大変お世話になっております。

7月末で九州も梅雨が明け、いきなり猛暑の日々が続いています。新病院建設については、現在9階の躯体工事に着手しており、その後ヘリポートを設置する工事に取り掛かる予定となっています。

なお、工事の進捗状況については、院内のロビー及び外来待合等で随時ご案内をさせて頂いておりますので、ご来院時には是非ご覧ください。

また、新病院建設中は、近隣住民の方々をはじめ多くの方々にご迷惑及びご不便をおかけしておりますが、新病院では、1. 急性期医療を担う地域の中核病院 2. がん医療・透析医療の中心的病院 3. 県南の災害拠点病院以上の病院機能を充実し、佐伯地域の医療に貢献できるよう新病院の整備を進めているところです。ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



JCHO 南海医療センター
(ジェイコー)

〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町11-20 <https://nankaijcho.go.jp/>
TEL 0972-22-0547(代表) FAX 0972-23-4083

看護ふれあい体験

目を輝かしている姿

「看護ふれあい体験」とは、高校生を対象に見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを行うイベントです。当院では看護週間の5月17日、南部保健所の企画にて、市内の看護職を志す高校生7名の参加がありました。白衣を着用し、目を輝かしている姿を見てこちらが身の引き締まる思いになりました。看護体験を行い「患者さんのことを考えて視線を合わせ、大きな声でゆっくり話しているのを見てすごいなと思いました」「今回の体験でもっと、看護師になりたいと思いました」など他にも多くの感想をいただきました。参加していただいた高校生みなさん、うれしいお言葉をありがとうございました。

白衣の天使、ランプの貴婦人と言われた「ナイチンゲール」慈愛の心もそうですが、統計的な解析に基づく医療衛生改革に尽くした業績など、近代看護学への発展をもたらした「天使」は長い年月を経ても私達看護師の憧れの存在です。未来の看護師さんを応援していきたいと思えます。南海医療センターでは未来の看護師さんを応援するための奨学金制度や、インターシップ、病院見学等受け入れも随時行っております。ぜひお気軽にご相談ください。

教育担当 副看護部長 濱田絵里



新任 医師 紹介



医師からのコメント

CTやMRIのチェックやカテーテルを用いた治療をメインに行っています！
宜しくお願い致します！

新任医師が着任しました。

とくやま こうへい
放射線科部長 徳山 耕平



5月より年号が「令和」に変わり、日中の気温が30℃近く上がる予報で初夏を感じる暑さの中、当施設の4大行事の最初となる南海老健大運動会を5月25日土曜日に開催いたしました。熱気に満ちた会場にて紅白の団長より気合を込めた選手宣誓に始まり、職員の応援合戦の後、手に汗握る白熱した競技が繰り広げられました。

日頃のリハビリの成果を十分に発揮し、全員が一丸となり真剣な表情や笑顔で借り物競争や玉ころがしなどの競技に参加され、結果は30点差で紅組が昨年に続き勝利し幕を閉じました。

運動会後には家族座談会を行い、山田介護福祉士より「排泄ケアについて」との題目で当施設の排泄ケアの方法等をお伝えし、14名のご家族に参加して頂きました。グループワークでは、ご家族より日頃聞けないような疑問や意見を頂き、活発な話し合いを行う事ができました。座談会での皆様からの貴重な意見をまとめる事で、当施設も介護保険法の趣旨に沿った施設運営のもと、施設生活や在宅復帰を取り組めるケアに取り組んでいきます。

7月27日(土)夏祭りを開催いたしました。(次号以降掲載予定)

南海老健 大運動会



はだ まさお
薬剤部長 葉田 昌生

日本医療薬学会認定 がん指導薬剤師

日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師

日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師

日本医療機能評価機構 医療クオリティマネージャー研修修了

平成31年4月1日よりJCHO南海医療センター薬剤部長を拝命いたしました葉田 昌生と申します。

前任地は福岡県にあるJCHO久留米総合病院でした。中間管理業務の傍ら、より良い医療のためにと研究や学会、地域連携などの活動を行い、臨床では主に固形がんを担当し、がん専門薬剤師をはじめとした臨床で活躍できる薬剤師の育成に努めてまいりました。

JCHO南海医療センターは地域の中核病院として県南地区で最新の医療提供に尽力してきた歴史ある病院です。昭和54年に地域で最初のCTを導入した病院としても知られており、常に先進的な技術を取り入れ地域に貢献してまいりました。当院薬剤部もそうした歴史の流れから、電子カルテに連動した全自動注射払出機、錠剤鑑査システムなど県内屈指のハードウェアを具備し、安全な薬物療法の提供に貢献してまいりました。

こうした先代より脈々と受け継いできた取り組みやハードウェ

アを大切にしつつ、私も業務改革を進め、より患者さんに寄り添った医療提供体制へ充足を図っていきたくと考えております。

そのためにはチーム医療の充実が大切です。職種を超えたチームの連携を充実させ、患者さんのために最大のパフォーマンスを発揮できるよう、新しい取り組みに臆さず、前に進める積極的な働きかけを行ってまいります。

また地域への高度かつ安定した医療提供のためにも、スタッフの研鑽活動を奨励し、魅力あふれる職場体制を作り、人材育成や人材確保に努めてまいります。

さらに、最良の薬物療法が当院の外でも継続していけますよう、院外の調剤薬局や他院薬剤師との連携も行ってまいります。

JCHO南海医療センター薬剤部はこれまででもこれからも地域の皆様のためにチャレンジを続けます。これからの弛まぬチャレンジにご期待いただき、ご指導、ご声援いただけましたら幸甚です。